

# 第29回防災まちづくり大賞受賞団体の決定

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、今回で29回目を迎えました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

今回は全国各地から135事例の応募があり、学識経験者等で構成される選定会議において、他の地域の模範となる優れた20事例が選定されました。

## 受賞事例数

	応募総数	135
表彰区分	総務大臣賞	3
	消防庁長官賞	5
	日本防火・防災協会会長賞	12
	受賞事例総数	20



防災まちづくり大賞シンボルマーク

災害による被害を軽減するためには、地域の防災力を強化すること、とりわけ地域の方々の「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識と連帯感に支えられた自主的な防災活動を推進していただくことが重要です。

平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、住民、自主防災組織、消防団、地方公共団体、国等の多様な主体が、相互に連携協力して、地域防災力を高めていくことの重要性が示されました。

受賞団体の皆様には、今回の受賞を契機として、より一層日頃からの活動を充実・発展させ、引き続き、地域防災力の向上にご尽力いただくことを期待しています。

## 〈総務大臣賞受賞事例の紹介〉

今回、総務大臣賞を受賞された3事例の取組を紹介します。

- 団体名：チーム「つなくる」
- 事例名：学生の『チーム「つなくる」』による学校・社会教育施設への出前防災授業の取組
- 所在地：北海道釧路市

## 【団体概要】

北海道教育大学釧路校・地域学校教育実践専攻・学校教育分野・授業開発研究室のゼミ生のうち学部3・4年生が「チームつなくる」として釧路市内をはじめ、東北海

道を中心に毎年10～15校を回って防災出前授業を行なっています。学校で防災授業を行うことで、子どもたち自身が自らの命を守ることができ、正しい防災意識を持つ「ひと」に変え、地域を変えていくことができます。この意識を学部4年生が下の学年に伝え、「チームつなぐる」として代々引き継がれています。

### 【背景】

「国後島が守ってくれるから羅臼には津波は来ない」、この言葉を羅臼町内の多くの住民が信じていることがわかりました。「大人を変えていくには防災教育を学校で取り組み小学生から教育していかねばならない」と2010年から羅臼町立羅臼小学校と教育大学が共同で防災授業に取り組むことになりました。防災授業は、学生が主体となって取り組めるようにし、将来、教員になった際に、防災教育を推進していける人材の育成も兼ねて行うこととしました。

### 【取組の内容】

組み立て式の津波実験装置を学校に運び、中・高学年向けに「津波とはどのような波か」「津波から身を守るにはどうすべきか」を主題に授業を行っています。低学年には、場面を想定した3人の中であなたはどの人になりますか？ という問いをしながら防災寸劇を行っています。これらは、毎年、学生が変わるごとにリニューアルしています。さらに、学生とNHKが共同で「津波から身を守る」ビデオ教材の作成や、訪問校の児童に配布する地震津波防災パンフレットの作成も行っています。

### 【成果】

羅臼町では15年継続して防災授業を行い、「国後島があっても、津波は来る」と答える児童、家庭が増えてきました。釧路

市の小中学校の防災出前授業の一躍を担うのが「チームつなぐる」になっています。苫小牧市や根室振興局管内、社会教育施設、自治体の防災行事、幼稚園などから依頼を受けるようになり認知度が上がってきています。卒業生が巣立ち道内外で教員として防災教育を担当する一員となり、防災授業を実践し活躍する姿が見られるようになってきました。



「国後島」があっても津波が来ることを伝える羅臼での防災授業

- 団体名：キャッセンエリアプラットフォーム
- 事例名：スマホゲーム防災×観光アドベンチャー「あの日」制作と防災学習プログラムの開発
- 所在地：岩手県大船渡市

### 【団体概要】

キャッセンエリアプラットフォームは、東日本大震災後に設立された、まちづくり会社であるキャッセン大船渡を中心に、津波復興拠点整備事業区域である大船渡駅周辺地区に立地する事業者と大船渡市などで構成され、震災後のまちづくりを進めています。資金を出し合いながら、安全かつ安心で、にぎわいのある生活空間と新しい価値文化を創造し「100年後の大船渡人にマチ文化」を引き継ぐことを念頭に活動して

います。

### 【背景】

東日本大震災から10年を超え、震災の衝撃と災害に対する恐怖や教訓が薄れていくことが危惧されています。震災の経験と知見に基づき、有事の際に取るべき行動を会得し、同じ悲劇を繰り返さないよう、無料でプレイできるスマホゲーム体験型アドベンチャー「あの日」をリリースしました。防災学習旅行の受け皿となるべく、これを用いた体系的防災学習プログラムを東北大学災害科学国際研究所と共同開発し運営しています。

### 【取組の内容】

スマホゲーム「あの日」では、音声ARを導入し震災疑似体験に没入できる仕様としました。震災経験者が声と画像で、「いきる知恵」として体験談や教訓を伝えます。また、被災地での調査をもとにしたクイズ「わかれ道」では、避難時のジレンマや葛藤を体感することができます。東日本大震災では死因の90%以上が溺死であり、地震から津波来襲の短時間に集中していることから、避難行動の重要性を気づき、身につけ、自らの命を守り抜ける人の育成を防災学習プログラムによって目指します。

### 【成果】

令和3年のスマホゲームリリース後、令和4年485人、令和5年437人、令和6年594人のゲーム体験会や教育旅行の受け入れを実施しました。令和7年2月末では、新規客を中心に700人を超える問い合わせがあり、これまでの高いリピート率からさらなる上積みが見込まれます。災害の経験という有形・無形の資産を活用し、観光資源の再定義と地域の再活性化・高付加価値化に向けた事業として、唯一無二の防災コ

ンテンツとして大きく発展する可能性が高いです。



「いきる知恵」の例

- 団体名：内郷女性消防クラブ
- 事例名：『安心を形作る手の技術』 – 『住む人すべて』に伝える・届く『防火指導』
- 所在地：福島県いわき市

### 【団体概要】

いわき市内郷地区は、平安時代の風情を今に伝える国宝の白水阿弥陀堂や常磐炭田の炭田産業遺産などの歴史的遺産が残る地域です。「内郷女性消防クラブ」は、昭和62年に前身の「下綴婦人消防クラブ」として発足し、現在は、防災士8名、防災手話講習修了者14名、民生委員14名を含む計61名のメンバーで構成され、地域全体の防災教育に力を入れています。

### 【背景】

内郷・常磐地区は、かつて炭鉱で栄え、「一山一家」という隣保共助の精神が根付いています。これは「皆が家族のように助け合おう」という考え方です。東日本大震災や原発事故で大きな被害を受けた地域住民は、この精神を胸に、自助・共助・公助の重要性を再認識しました。この助け合いの精神を次世代へ継承し、地域一体となった防災まちづくりを推進するため、「内郷

女性消防クラブ」は地区内で多様な防災指導を実施しています。

**【取組の内容】**

- (1) 防災手話講習会：『お互いの命を守るために～大切なのは伝わること～』を開催しています。
- (2) 外国人に対する防災指導：国際交流協会と連携し外国人留学生等に絆防災水引細工作成や防災指導（「非常用持ち出し袋」、「ハザードマップ活用方法」）を実施しています。
- (3) 防災教育：オリジナル指人形劇「カンカン君の火遊び」&「創作防災かぞえ歌」によるお手玉遊びを防災イベントなどで上演しています。
- (4) 高齢者世帯調査：地区の高齢者宅を訪問し、住宅用火災警報器の設置・更新の促進などの防火指導を実施しています。

**【成果】**

- (1) 防災手話講習会：聴覚障害を持つ女性消防クラブ員が講師を務めることで、専門性の高い講習会を実現し、聴覚障害者が安心して避難できる環境づくりに貢献できています。
- (2) 外国人に対する防災指導：外国人留学生への防災意識の啓発とハザードマップの活用を促進するとともに、非常時の持ち出し袋の必要性など、実践的な知識を提供することができました。
- (3) 高齢者世帯調査：住宅用火災警報器の配布事業において、高齢者世帯への設置支援を行い、消防署・団、他関係機関と協力して地域住民との連携を強化するとともに、地域住民に女性消防クラブの存在を広く知ってもらうことができました。



防災手話講習会

**〈第29回防災まちづくり大賞受賞団体〉**

**（総務大臣賞受賞団体）**

- ・チーム「つなくる」（北海道釧路市）
- ・キャッセンエリアプラットフォーム（岩手県大船渡市）
- ・内郷女性消防クラブ（福島県いわき市）

**〈消防庁長官賞受賞団体〉**

- ・三菱地所株式会社・丸の内警察署（東京都千代田区）
- ・つつじが丘北防災協議会（東京都昭島市）
- ・宝塚市立宝塚文化創造館（兵庫県宝塚市）
- ・三柳団地2区 自主防災会（鳥取県米子市）
- ・認定NPO法人好きっちゃ北九州（福岡県北九州市）

**〈日本防火・防災協会会長賞受賞団体〉**

- ・石巻市防災士協議会（宮城県石巻市）
- ・榊葉町地域学校協働センター（福島県榊葉町）
- ・神栖防災アリーナPFI株式会社（茨城県神栖市）
- ・専門学校トヨタ東京自動車学校（東京都八王子市）
- ・新発田市教育委員会 生涯学習課（新潟県新発田市）
- ・大堀区自治会（京都府福知山市）
- ・鏡田連合自治会 自主防災組織（京都府大山崎町）
- ・堺市消防局 堺市総合防災センター（大阪府堺市）
- ・片上地区支えあい実行委員会（岡山県備前市）
- ・藤田区自主防災会（熊本県備前市）
- ・下西校区防災会（鹿児島県西之表市）
- ・一般社団法人まちづくりうらそえ（沖縄県浦添市）

第29回防災まちづくり大賞受賞団体の活動内容が掲載された事例集は、4月中旬頃、総務省消防庁ホームページの「防災まちづくり大賞」のページに掲載する予定です。

<https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/ikusei002.html>

**■問合わせ先**

消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室  
TEL:03-5253-7561